

観閲式

カレッジ防衛モニター 榎木 達志

11月1日(日)、朝霞駐屯地。東部方面隊創立56周年を記念し、観閲式が執り行われた。

東部方面隊のみの観閲式とは言え多くの観覧者で賑わう朝霞駐屯地には、各種車両・装備が展示されており、間近で見る事が出来た。

観覧席に着くと、既に幾つかの部隊が整列を終え、微動だにせず直立していた。全部隊が整列し終え、国旗掲揚や来賓の方々の紹介、式辞にはありがたく、そして東部方面総監のお話、と順序良く式は進み、メインの各隊行進。各隊、一斉に各々の部隊車両へと乗り込んでゆき、車輛が排気ガスを吹き上げながら走りだした。偵察部隊のバイク、施設科のOF7式機動支援橋等に始まり、航空科のヒューイやチヌーク、機甲科の90式、10式戦車が、目の前を走り抜けていく。そして、最後に高等工科学校生によるファンシードリルだ。4kgを超えるM1ガーランドを軽々と、時に片手で回し続けるその様は美しいとしか言いようがなかった。



観閲行進の様子



高機動車に体験搭乗 (奥が本人)

第16回栄区民まつりで区民の方から慰労の言葉



相談員と親子づれで賑わう自衛隊ブース



子供たちに大人気の「はまにゃん」



神奈川地方協力本部上大岡募集案内所(所長 平原1陸尉)は、11月7日(土)、横浜市栄区本郷中学校で実施された「第16回栄区民まつり」に自衛隊上大岡募集相談員の支援を受け、募集広報を行った。

募集・広報ブースでは、災害派遣をメインに写真パネル展示、戦闘糧食セットの展示説明や自衛隊制服等試着等を行った。

訪れた人からは、自衛隊制服や迷彩服に身を包んだわが子を見て、「かっこいい」「かわいい」など絶え間なく声が響き、ブース内は大盛況となった。また、写真パネルを見た来場者からは「自衛隊の皆さんご苦労様です」「いつも国民のためにありがとうございます」「自衛隊に対する高い評価の声がかかります。」「自衛隊に対する高い評価の声がかかります。」など、自衛隊に対する高い評価の声がかかっていた。

上大岡募集案内所は、「今後も、地域イベントに積極的に参加、自衛隊の活動や魅力をPRして募集対象者情報の獲得に努めるとともに防衛基盤の拡充を図っていききたい」としている。

ブルーインパルスの奇跡 エアフェスタ浜松2015で曲技飛行



感動の曲技飛行



雨の中たくさんの人が訪れた

神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 酒井1海尉)は、11月8日(日)、厚木愛甲自衛隊父兄会が主催した「エアフェスタ浜松2015」見学を支援した。

このイベントは、3年連続実施しており、中でもブルーインパルスの曲技飛行が好評なことから、父兄会員の他に厚木募集案内所が担当する募集対象者も大勢参加した。

一昨年の曲技飛行は荒天のため中止となっており、今回も朝から雨が降る生憎の空模様で、中止の可能性を感じながら浜松へと向かった。装備品展示など各イベントが行われ、ブルーインパルスの飛行時間が近づいて雨で視界も霞んでいた。しかし、飛行予定30分前から次第に空が明るくなり、雨がやみ、ブルーインパルスの曲技飛行がおこなわれた。

ツアー参加者からは「雨がやんだ時、奇跡が起きたと思いました、それ以上にブルーインパルスの技術に感動しました」という声や、「自衛隊のパイロットの技術に感動しました。空自の航空学生を目指したい」という中学生の声も聞かれた。

厚木募集案内所は、「今後も、大勢の人に、実際の自衛隊の装備を見てもらうことで夢と感動を与えられるよう積極的に業務に邁進していく」としている。